2026 年 11 月 12 日
積水ハウス株式会社

積水ハウス、令和 8 年度「新エネ大賞」において新エネルギー財団会長賞を受賞

- 入居者売電方式による賃貸住宅「シャーメゾン ZEH」の普及促進が評価 -

積水ハウス株式会社は、一般財団法人新エネルギー財団が主催する、令和 8 年度「新エネ大賞」において、賃貸住宅「シャーメゾン ZEH」の普及に向けた取り組みが評価され、商品・サービス部門の「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。積水ハウスの「新エネ大賞」受賞については令和 2 年度の受賞以来、今回で 4 度目の受賞となります。



住宅分野の脱炭素化を進めるうえで、集合住宅、特に賃貸住宅における ZEH の普及が重要な課題となっています。積水ハウスは、賃貸住宅ブランド「シャーメゾン」において、2020 年度から「シャーメゾン ZEH」の本格的な普及を進めており、特に入居者が太陽光発電のメリットを直接享受できるよう、各住戸に太陽光発電設備を接続する「入居者売電方式」を採用し、住戸単位の ZEH 化を推進しています。また、積水ハウスと賃貸管理業務を担う積水ハウスシャーメゾン PM 各社が連携し、オーナー様への ZEH 仕様の提案から入居希望者への価値訴求まで一体となって取り組んでいます。設計段階での ZEH 判定ツールや光熱費シミュレーションツール、賃貸住宅情報サイトでの情報発信なども活用し、2025 年度の ZEH 比率は 77%、累計受注戸数は 70,988 戸に達しました。この度、賃貸住宅「シャーメゾン ZEH」の普及促進を評価いただき受賞となりました。

積水ハウスは今後も、入居者とオーナー様の双方に価値をもたらす賃貸住宅 ZEH の普及を通じて、住宅分野における再生可能エネルギーの活用と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【受賞内容】
・賞名：令和 8 年度「新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞
・受賞部門：商品・サービス部門
・受賞案件名：入居者売電方式で推進する賃貸住宅 ZEH

【審査コメント】
本取り組みは、賃貸住宅への「入居者売電方式」により、入居者が光熱費削減や快適性向上、停電時のレジリエンス等のメリットを享受できることで、物件の付加価値が高まり、その結果、長期安定経営というオーナーメリットにつながるスキームである。
なかなか再エネ導入の進まない賃貸住宅において、入居者が再エネ電力を自家消費し余剰分を売電できる仕組みを構築、ビジネスモデルの工夫によって賃貸住宅の ZEH 化を加速化させた点が評価された。策として極めて価値が高い。顧客との絆を活かしつつ、社会全体のカーボンニュートラルに貢献する優れたビジネスモデルといえる。

【「新エネ大賞」について】
「新エネ大賞」は、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入、普及啓発、分散型エネルギーの活用及び地域に根ざした導入の取組みを広く公募し、厳正な審査の上、表彰をすることを通じて、新エネルギー等の導入の促進を図ることを目的とするものです。

■新エネ大賞公式サイト：https://www.nef.or.jp/award
■「シャーメゾン ZEH」について詳しくはこちら：https://www.sekisuihouse.co.jp/shm-keiei/product/zeh/

※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）：断熱性能の向上や高効率設備の導入による省エネルギー化と、太陽光発電などによる創エネルギーを組み合わせ、年間の一次エネルギー消費量の収支を実質ゼロとすることを目指した住宅。